

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2020年9月4日】第57号



2学期はじまる

9月1日(火)、農大稲花小は始業式。子どもたちが元気に登校してきました。久しぶりの子どももいますし、夏休み中も、農大アフタースクールに毎日通っていた子どももいます。とはいえ、ランドセルをしっかり背負って登校してきた子どもたちの顔を見るのは、うれしいものです。夏休みには、たくさんの楽しい思い出ができたことでしょうか。しかし、それだけでなく、夏休みにどのようなことができるようになったか、どのように苦手なことに挑戦したか、お家の方が喜ぶような何かができただろうか、振り返ってもらえたらとも思っています。自分の成長を感じることができたとき、子どもたちの心はより満たされるに違いありません。

さて、学校は勉強するところです。教室での勉強が大切なのは言うまでもありません。しかし、本を読む、運動する、食べる、歌う、友だちと仲良く遊ぶといった学校でのすべてが、子どもたちにとっては勉強といえます。始業式に校内テレビを通じて行った校長講話ではとくに、友だちをはじめとする周りの人にやさしい心で接してほしいことを伝えました。小学校での“勉強”の中には、自分の中にある良いところを育てることも含まれているからです。子どもたちがよい友だちに恵まれるだけでなく、やさしい心をもって誰かにとっての良い友だちになれるといいですね。

学校見学会へようこそ

8月29日(土)と30日(日)に、農大稲花小の学校見学会が行われました。2021年度の入学試験をお考えの保護者の皆さんから、学校の中を見たいというご希望を多くいただいていることもあり、新型コロナウイルス感染防止策を様々にとっての実施となりました。大変暑い日でしたが、来校者の皆様にも感染防止対策に快くご協力いただき、校内をご覧いただきました。1回10組限定、最大滞在時間20分という制限のある中でしたが、農大稲花小学校の子どもたちが日ごろ、学んだり遊んだりしている様子をご想像いただけたのではないのでしょうか。なお、9月12日(土)にはオンライン学校説明会も予定しています。

ありがとう

本校では教職員もしっかりと夏休みをとり、新学期に向けて英気を養いました。一方、夏休み

中、ブルーベリーやバナナの鉢植えに水やりをしてくれていた職員、校内の設備を点検したり、新しい設備を取り付けてくれたりした専門家の皆さん、学校をきれいにしてくれた清掃員、学校を守ってくれた警備員、と新学期が無事に迎えられるように様々な方々の助けがあったことを、子どもたちに伝え、一緒に感謝したいと思います。また、夏休みにかわいらしい暑中見舞いや残暑見舞いをくれた子どもたちには、この場を借りて教職員からのありがとうの言葉を伝えさせていただきます。なお、頂いたお葉書に対して個別にお返事を出しておりませんが、学校の方針としてご了承ください。

寄付のお願い

学校法人東京農業大学では、法人傘下の各校や様々な活動に対して広くご寄付を募っております。農大稲花小でも、本校の教育環境をより充実させるため、「東京農業大学 稲花小学校教育振興資金」において、ご寄付のお願いをしております。保護者をはじめ本校の理念に共感される皆様からの多大なご支援をいただいております。いつでも、また何回でもご寄付いただくことができます。東京農業大学稲花小学校の子どもたちの未来に、格別のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。稲花小学校だけでなく、研究に、大学応援団に、スポーツにと、ご寄付をお考えの方はどうぞ「東京農大へのご支援をお考えの皆様へ」をご覧ください。

東京農業大学へのご支援をお考えの皆様へ：<https://bokin.nodai.ac.jp/>

続く 新型コロナウイルス予防

新学期は無事にスタートしましたが、新型コロナウイルスの蔓延はまだ続いています。そのため、新学期も引き続き、新型コロナウイルス感染予防が必要です。子どもたちの誰にも感染予防の行動がしっかり身についていることを願っています。ご家庭でも引き続き、ご指導をお願いします。一日中、切れ目なく予防に気を付けることが必要だからです。なお、本校でも感染予防の様々な措置についてその多くを継続していきますが、状況を見ながら、活動の幅を広げていきたいと考えています。ゼロリスクは望めない現在、予防にベストを尽くしながら、子どもたちのこことからだを丈夫に育てていきましょう。

校長 夏秋 啓子